

I. 平成30年度の実績

グループ名称	はりまe家ネット				
H30採択グループ番号	07	—	0231	—	0558

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	事業実施説明会の開催に合わせて工務店研修会を企画し、各社が顧客への提案や今後の事業に活かせるような情報提供を行い、工務店各社のレベルアップを図った。また、各社が抱えている問題点等を話し合うなど有意義な情報交換を行い、万一の事態にも助け合えるような協力関係の構築にも努めた。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/02	名称	はりまe家ネット 平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会		●	
	内容	1.平成29年度補助金申請物件の進捗状況および問題点等の報告 2.平成30年度地域型住宅グリーン化事業について 3.勉強会①「住宅ローンセミナー」(講師:JA兵庫西 住宅ローンセミナー) 4.勉強会②「工事保険セミナー」(講師:ハウスプラス住宅保証株式会社)							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称				
	内容								
	消費者説明会 2		開催日		名称				
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/02	名称	住宅ローンセミナー「超低金利住宅ローンのご紹介」	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/08/02	名称	工事保険セミナー「工事中の洪水や地震のリスクヘッジ」	タイプ	座学	●
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店に対してサポートを行い、補助金の交付申請をする予定であったが、平成30年度は実績報告の最終期限が当初2月初めと例年になく早かったため、工期的に間に合わず、補助金申請を見送る結果となった。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	4	発行予定	7
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JBN	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	顧客に対して適切に説明できるよう、説明書の雛形を作成し、各施工業者に配布する。 施工業者の破産・倒産の場合は、顧客への説明と同意のもと、グループ内の他の施工業者にメンテナンス等を移行する。						
② H30年度における施工構成員の廃業	無						
対応内容							

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有						
内容	グループで供給する住宅の基本性能は、耐震等級3、断熱等性能等級4をクリア、全外部開口にLow-E遮熱・断熱ペアガラスを使用する。						
省エネ化に対する取組 ②	有						
内容	省エネに関して、下記の選択項目から1項目以上を採用する。 1. 太陽光発電の設置 (3.0kW以上)      4. 全室LED照明の採用 2. 雨水タンクの設置 (150リットル以上)      5. 通風・創風最適設計サポートの利用 3. 太陽熱温水器の設置 (200リットル以上)						
BELS工務店の登録数	2 社						

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	はりまe家ネット			
H30採択グループ番号	07	—	0231	— 0558

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/17	名称	はりまe家ネット 平成31年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	1.平成30年度補助金申請物件の進捗状況および問題点等の報告 2.平成31年度地域型住宅グリーン化事業について(国土交通省の説明会の報告)						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/09/28	名称	はりまe家ネット 展示会		
	内容	住宅設備会社が消費者向けに企画する住宅設備イベントにグループとして出展し、はりまe家ネットの活動やグループが供給する住宅の特長を広く消費者に向けてPRする。また、工務店各社が自社の顧客をイベントに招待することで、商談率の向上にも寄与したい。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/10/30	名称	森林見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	未経験工務店に対し、事務局が中心となって設計サポートや補助金申請サポートを行い、補助金を活用できるよう積極的に働きかける。						
取組み②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	JBN
------------	----------	-----	-----

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	顧客に対して適切に説明できるよう、説明書の雛形を作成し、各施工事業者に配布する。 施工事業者の破産・倒産の場合は、顧客への説明と同意のもと、グループ内の他の施工事業者にメンテナンス等を移行する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	住宅の基本性能:耐震等級3、断熱等性能等級4をクリア、全外部開口にLow-E遮熱・断熱ペアガラスを使用する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	住宅の省エネルギーに関して、下記の選択項目から1項目以上を採用する。 1. 太陽光発電の設置(3.0kW以上)      4. 全室LED照明の採用 2. 雨水タンクの設置(150リットル以上)      5. 通風・創風最適設計サポートの利用 3. 太陽熱温水器の設置(200リットル以上)						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日				
内容						
研修計画 ②		実施日				
内容						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	はりまe家ネット				
H30採択グループ番号	07	—	0231	—	0558

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>兵庫県南西部に位置する播磨地方は、瀬戸内海地方特有の穏やかな気候風土で、冬は温暖で過ごしやすいが、昨今は地球温暖化の影響に伴い、夏は高温多湿となる。また、兵庫県西部から岡山県にかけ、活動度の高いA級活断層(山崎断層)が延びている。播磨地方では、868年のM7.1前後の地震以降、1100年以上も大地震がなく、近い将来M6~7の地震の可能性がある。また、南海トラフ巨大地震発生の懸念も日々増加している。</p> <p>こうした地域特性を踏まえ、下記の取組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震に強い安全・安心の家</li> <li>○ 環境に配慮し、地球温暖化防止に貢献できる家</li> <li>○ 高気密・高断熱・省エネの快適な家</li> <li>○ 建設から維持管理まで信頼される家</li> <li>○ 兵庫県産材を使用した地産地消の家</li> </ul>
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	80%以上	■
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	【主要構造材】地域材(兵庫県産材、国内・国外の合法木材)を主要構造材(柱、梁、桁、土台)のすべてに使用。管柱には必ず兵庫県産材を使用する。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有	【主要構造材以外の部材】2次部材(母屋、束、垂木、間柱、野縁等)に兵庫県産スギKD(人工乾燥)材を1棟当たり2㎡以上使用する。	
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	無	
内容		
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	仕入れコスト低減のため、一部建材について、共同購入仕入れを行っている。 ※ 設備、内装・外装材等の仕様については、各施工事業者がそれぞれ特徴をもち、差別化を行っているため、下地材や建材の仕入れ等に目を付けている。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	無	
内容		
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	チェックシートに基づく徹底した現場監理を行う。 構造チェックシートの写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	グループ共通の維持管理計画書として「住まいの管理手帳」を活用する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	無	
内容		
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	一式見積もりをせずに数量を拾い出し、詳細見積書を消費者に提示する。 詳細見積書の一部の写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	地盤調査に基づいた適切な地盤改良、基礎形成を選択し、地盤保証を付ける。 地盤保証書の写しを実績報告時にグループ事務局に提出する。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	無	内容	
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	無	内容	

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	はりまe家ネット			
H30採択グループ番号	07	—	0231	— 0558

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	国産イ草、または和紙の畳を使用した和室、もしくは和空間の採用(3帖以上)を、「地場産業の活用と和の住まいの推進」に関する選択項目の1つとする。
② 和瓦の活用	有	内容	地元・兵庫県の淡路瓦の採用を、「地場産業の活用と和の住まいの推進」に関する選択項目の1つとする。
③ 襖・障子の活用	有	内容	建具の一部に障子、または襖を採用することを、「地場産業の活用と和の住まいの推進」に関する選択項目の1つとする。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	室内の木装化に兵庫県産材を使用(10㎡以上)することを、「地場産業の活用と和の住まいの推進」に関する選択項目の1つとする。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	無	内容	
③ 地域の街並み形成への配慮	無	内容	

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	<p>東北復興に寄与するため、岩手県石巻市に工場を持つセイホクグループの構造用合板を剛床に使用することを推奨する。</p>
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>熊本復興に寄与するため、熊本県の事業者にもグループ登録してもらい、熊本県産材(国内合法木材)を活用するルートを確保する。</p>